

令和版 BCL マニュアル復刊物語 電波新聞社特別相談役 電子工作マガジン編集長 大橋太郎



2018年8月25-26日、東京ビッグサイトで開催された「ハムフェア2018」に、電波新聞社は久しぶりにブースを出展し、26日に、私は数十年ぶりにステージイベントもおこないました。今は、入門者向けの定期発行のエレクトロニクス雑誌としては唯一となった『電子工作マガジン』を発行しており、日本アマチュア無線連盟の玉眞博義専務理事(当時)から「以前のように、初心者や、幅広い層をハムフェアに集めてほしい」との要望もいただき、イベントに合わせてアマチュア無線の入門誌『アマチュア無線開局・運用マニュアル』を発刊したことも出展の契機でした。

ステージでは私が編集長をさせていただいていた『ラジオの製作』の元筆者だった羽根田 新氏がMCを担当、高野 章氏や、今をときめくITジャーナリス三上洋氏などラ製軍団も登場。「若い人を育ててエレクトロニクス国家再生を」と、電子ホビー70年の軌跡のプレゼンテーションを展開しました。その様子を見ていた尾原 栄氏が、HCJBの尾崎一夫先生に報告したところ「タロベエさんが頑張っているなら番組に出てもらおう」ということになり、今年の正月番組に出させていただく運びになりました。これを契機に編集部の中で、私が編集を担当した「山田耕嗣先生の名著『BCL マニュアル』を復刊しよう」との機運が高まり、多くの現役BCLの皆様の献身的な協力をいただき『令和版 BCL マニュアル』を「ハムフェア2019」開催日の8月31日に発刊することになりました。



孫の丈太郎もハム仲間！



秋葉原駅前商店街振興組合での工作教室

今年はパソコン誕生40周年。小学生の間ではプログラミングや電子工作が流行し始め、私も教室のお手伝いをしています。アナログレコードが復活し若者の心をとらえたように、世界に目を開くきっかけになるラジオ放送受信も注目され始めています。一橋大学イノベーション研究センターには、オーラルヒストリーとして、私の編集者としてのエレクトロニクスホビーとの取り組みをまとめていただきました。
(<http://pubs.iir.hit-u.ac.jp/admin/ja/pdfs/show/2255>)
ご一読いただければ幸いです。
令和に育つ子供たちを、楽しく技術や素養を身につけた経験を持つ、BCLやパソコン少年少女だった皆様と共に、エレクトロニクスホビーの世界にいざなおうではありませんか。

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
8月31日	「四・中国リスナーの集い in 岡山 (2)」	9月01日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩編の旅路
9月07日	「関西リスナーの集い」 in 大阪 (1)	9月08日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩編の旅路
9月14日	「関西リスナーの集い」 in 大阪 (2)	9月15日	リスナーからの「お便り交換の時間」
9月21日	「関西リスナーの集い」 in 大阪 (3)	9月22日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩編の旅路
9月28日	日本に魅せられた Glenn Farrier 先生	9月29日	聖書遊覧バス 旧約聖書 詩編の旅路

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 15410kHz (再放送) 午後8時~8時30分 15565kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

